

東村山市一般廃棄物処理基本計画 実行計画

平成 28 年度実績報告書

東村山市

目次

はじめに	1
施策の体系	2
平成28年度の取り組み状況	
1. 発生抑制・排出抑制、再使用の推進	
(1) 発生抑制・排出抑制に関する取り組み	
① 食品ロス削減の取り組みの推進	3
② 生ごみの水切りの促進	3
③ 生ごみの自家処理の促進	3
④ 集団資源回収の推進	4
⑤ レジ袋の削減	4
⑥ リサイクルショップ活動の拡充	4
⑦ ごみ減量・リサイクルを促進するための販売事業者の紹介	5
⑧ 事業系ごみ(行政収集分)における排出事業者責任の明確化	5
⑨ 事業系ごみ(民間収集分)の排出指導	5
⑩ 事業系ごみ(事業用大規模建築物)の減量及び再利用等の指導・監督	6
⑪ 店頭回収の拡大(店頭回収)	6
⑪ 店頭回収の拡大(自動販売機脇回収ボックス)	6
(2) 再使用に関する取り組み	
① フリーマーケット、不用品交換の推進(フリーマーケット)	7
① フリーマーケット、不用品交換の推進(不用品交換)	7
② 家具等の再使用の促進	7
2. 合理的な収集と資源化の推進	
(1) 合理的な収集に関する取り組み	
① 円滑な収集・運搬の推進	8
② 資源物の持ち去り防止対策の推進	8
③ 高齢者等みまもり収集の継続実施	8
(2) 資源化の推進に関する取り組み	
① 生ごみの資源化の推進	9
② 使用済小型家電の資源化の推進	9
3. 安全で確実な処理体制の構築	
(1) 安全で確実な処理体制の構築に関する取り組み	
① 施設の維持・整備の推進	10
② 焼却灰のエコセメント化の継続	10
③ ごみ処理施設更新の検討	10
④ 災害発生時の対応に向けた取り組みの推進	11
4. 情報提供や環境学習の充実	
(1) 情報提供や環境学習の充実に関する取り組み	
① 啓発活動の推進	12
② 講座・学習・イベントの推進	12
③ 集合住宅の排出指導強化	12
④ 学校への出前授業等の実施	13
5. 市民・事業者との協働	
(1) 市民・事業者との協働に関する取り組み	
① 廃棄物減量等推進員の活動推進	14
② 市民組織への支援と協働及び連携の推進	14
③ 市民・事業者との協働の推進	14

はじめに

本報告書は、平成 28 年度東村山市一般廃棄物処理基本計画 実行計画の実施状況を取りまとめたものです。

東村山市では、平成 23 年度から平成 32 年度までの 10 年間を計画期間とする東村山市一般廃棄物処理基本計画を策定し、『低炭素や効率性に配慮した循環型社会の実現』を基本理念として、五つの基本方針に沿って 29 の施策を体系化しています。

これら 29 施策の具体的な取り組み内容や、10 年後の数値目標に向けた各年度のステップを取りまとめたものが東村山市一般廃棄物処理基本計画 実行計画であり、進捗状況や社会背景の変化などを組み入れながら、毎年見直しをしていきます。

施策の体系

	基本方針	施策	
排出抑制計画	1.発生抑制・排出抑制、再使用の推進	(1)発生抑制・排出抑制に関する取り組み	
		① 食品ロス削減の取り組みの推進	
		② 生ごみの水切りの促進	
		③ 生ごみの自家処理の促進	
		④ 集団資源回収の推進	
		⑤ レジ袋の削減	
		⑥ リサイクルショップ活動の拡充	
		⑦ ごみ減量・リサイクルを促進するための販売事業者の紹介	
		⑧ 事業系ごみ(行政収集分)における排出事業者責任の明確化	
		⑨ 事業系ごみ(民間収集分)の排出指導	
		⑩ 事業系ごみ(事業用大規模建築物)の減量及び再利用等の指導・監督	
⑪ 店頭回収の拡大			
	(2)再使用に関する取り組み		
	① フリーマーケット、不用品交換の推進		
	② 家具等の再使用の促進		
収集・運搬計画	2.合理的な収集と資源化の推進	(1)合理的な収集に関する取り組み	
		① 円滑な収集・運搬の推進	
		② 資源物の持ち去り防止対策の推進	
		③ 高齢者等みまもり収集の継続実施	
		(2)資源化の推進に関する取り組み	
		① 生ごみの資源化の推進	
		② 使用済小型家電の資源化の推進	
		(3)分別区分と収集方法	
処理・処分計画	3.安全で確実な処理体制の構築	(1)安全で確実な処理体制の構築に関する取り組み	
		① 施設の維持・整備の推進	
		② 焼却灰のエコセメント化の継続	
		③ ごみ処理施設更新の検討	
		④ 災害発生時の対応に向けた取り組みの推進	
		(2)処理・再利用の流れ	
4.情報提供や環境学習の充実	4.情報提供や環境学習の充実	(1)情報提供や環境学習の充実に関する取り組み	
		① 啓発活動の推進	
		② 講座・学習・イベントの推進	
		③ 集合住宅の排出指導強化	
		④ 学校へのお出前授業等の実施	
5.市民・事業者との協働	5.市民・事業者との協働	(1)市民・事業者との協働に関する取り組み	
		① 廃棄物減量等推進員の活動推進	
		② 市民組織への支援と協働及び連携の推進	
		③ 市民・事業者との協働の推進	

平成 28 年度の取り組み状況

基本方針 1 発生抑制・排出抑制、再使用の推進

(1) 発生抑制・排出抑制に関する取り組み

①食品ロス削減の取り組みの推進

今後の施策展開	まだ食べられる状態であるにも関わらず廃棄されてしまう食品ロスを削減するため、啓発活動を行うとともに、関係団体の協力を得ながら、削減に向けた取り組みを推進していく。			
平成 28 年度の主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発ポスター及びチラシの作成・配布により啓発を行った。 ・小学校の施設見学や出前授業等で啓発を行った。 ・ホームページや、「ごみ見聞録」により啓発を行った。 ・事業者に出店協力を依頼し、リサイクルフェアで食品ロス削減の啓発を行った。 			
数値目標	平成 28 年度 目標数値	平成 28 年度 実績数値	平成 28 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

②生ごみの水切りの促進

今後の施策展開	生ごみの水分量を減らすことは、ごみの減量につながるため、水切りを促進していく。			
平成 28 年度の主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルフェアや市民産業まつり等のイベント、学校での出前授業において啓発を行った。 ・ホームページや、「ごみ見聞録」により啓発を行った。 ・美住リサイクルショップにて、水切りグッズの無料配布を実施した。 			
数値目標	平成 28 年度 目標数値	平成 28 年度 実績数値	平成 28 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

③生ごみの自家処理の促進

今後の施策展開	生ごみ減量化容器購入補助制度の周知方法を見直し、手法等の紹介を含めて、より効果的な普及啓発を進め、生ごみを家庭菜園やガーデニング等で利用する自家処理を促進し、ごみの減量を進めていく。			
平成 28 年度の主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルフェアや市民産業まつり等のイベント、スーパー等での店頭説明会において啓発を行った。 ・ホームページや「ごみ見聞録」、市報等により啓発を行った。 ・東村山花と野菜の会による生ごみ堆肥化相談コーナーを月 1 回実施した。 ・自治会へ啓発チラシを配布し、減量化容器活用の呼びかけを行った。 			
数値目標	平成 28 年度 目標数値	平成 28 年度 実績数値	平成 28 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
生ごみ減量化容器の補助台数	120 基	22 基	18.3%	1,200 基(累計)

④ 集団資源回収の推進

今後の施策展開	新聞等の古紙回収については、新聞販売店での回収も定着しているなど、回収量の増加は困難性があるが、宅地開発や新築マンションなども含めて新たな団体の発掘を行うことで集団資源回収を推進し、地域コミュニティの活性化を図っていくとともに、回収品目追加について検討を進めていく。			
平成 28 年度の主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未登録の自治会の洗い出しを行い、参加の呼びかけを行った。 ・ 開発業者に、集団資源回収のチラシを配布して協力を求めた。 ・ 廃棄物減量等推進員と協働して、イベントでの啓発を行った。 ・ 収集品目拡大について、情報収集を行った。 			
数値目標	平成 28 年度 目標数値	平成 28 年度 実績数値	平成 28 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
集団資源回収 参加団体数	142 団体	143 団体	100.7%	150 団体

⑤ レジ袋の削減

今後の施策展開	市民意識が高く、レジ袋を辞退する率も高いことから、スーパー等の値引きやポイント付与、購入時の声かけなどレジ袋の削減に向けた積極的な取り組みの継続を働きかけていくとともに、ドラッグストアや小売店舗等の未実施店への拡大も図っていく。			
平成 28 年度の主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 啓発ポスターを見直し、内容充実を図った。 ・ ホームページで、レジ袋削減協力店舗の紹介をした。 ・ 夢ハウスまつり等のイベントで、レジ袋削減の啓発を行った。 ・ 廃棄物減量等推進員の協力を得て情報収集を行い未実施店舗への協力依頼を行ったが、特にチェーン店では本社の判断に従う必要があり、店舗独自の判断による取り組みを行うことは難しい状況であった。 			
数値目標	平成 28 年度 目標数値	平成 28 年度 実績数値	平成 28 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
協力店舗数	29 店舗	27 店舗	93.1%	33 店舗

⑥ リサイクルショップ活動の充実

今後の施策展開	リサイクルショップ利用者増に向け継続事業の充実を図るとともに、新たな事業展開を考えていく。また、新規事業については市民に関心をもってもらえるような魅力あるイベントを計画していく。			
平成 28 年度の主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクルショップで実施した講習会の参加者に対し、ニーズ把握のためのアンケートを実施し、内容検討等の参考とした。 ・ 毎月 1 回、美住リサイクルショップの活動や不用品交換情報を掲載した「夢ハウス予定表」を発行し、市内公共施設で配布した。 ・ リサイクルショップリニューアルオープン 1 周年記念フェア等の新規イベントを開催した。 ・ 新たに、バッグと靴の引き取りを開始した。 			
数値目標	平成 28 年度 目標数値	平成 28 年度 実績数値	平成 28 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
リサイクルショップ 入館者数	24,000 人	25,329 人	105.5%	25,000 人

⑦ごみ減量・リサイクルを促進するための販売事業者の紹介

今後の施策展開	「ごみ見聞録」をはじめとする広報紙やホームページを通じて、簡易包装やレジ袋削減等に積極的な取り組みを行っている事業者の紹介やリストの公表を行い、取り組みの全市的な波及効果をねらっていく。			
平成 28 年度の主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ内容の見直しを図りながら、積極的な取り組みを行う事業者の紹介を行った。 ・「ごみ見聞録」で事業者の紹介の記事を掲載した。 			
数値目標	平成 28 年度 目標数値	平成 28 年度 実績数値	平成 28 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

⑧事業系ごみ(行政収集分)における排出事業者責任の明確化

今後の施策展開	少量排出事業者の排出するごみが家庭系ごみに混入しないよう、指導を継続していく。			
平成 28 年度の主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・栄町 2 丁目の少量排出事業所 1 2 0 件の事業所調査を行った。 ・収集委託事業者に対し排出が不適切な事業者の情報提供依頼を行ったが、排出が不適切な事業者の情報はなかった。 			
数値目標	平成 28 年度 目標数値	平成 28 年度 実績数値	平成 28 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

⑨事業系ごみ(民間収集分)の排出指導

今後の施策展開	民間収集運搬業者抜き打ち検査の実施等により、排出事業者の分別、減量化および資源化を促進するとともに、受入対象外のごみや、他市のごみを搬入する等の不適切な搬入を防止していく。			
平成 28 年度の主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・民間収集運搬業者が秋水園に搬入するごみについて、受け入れ対象外のごみが含まれてないか、不定期で検査を実施した。 ・受け入れ対象外のごみが混入していたものについて、民間収集運搬業者と排出事業者に対して指導を行った。 ・食品廃棄物等の資源化が可能なものが多く含まれる場合は、リサイクルへの協力を求めた。 			
数値目標	平成 28 年度 目標数値	平成 28 年度 実績数値	平成 28 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
検査回数	20 回	22 回	110.0%	20 回

⑩事業系ごみ(事業用大規模建築物)の減量及び再利用等の指導・監督

今後の施策展開	事業用大規模建築物における廃棄物の減量及び再利用に関する計画書の提出により実態把握を行うなかで、発生抑制、排出抑制の推進等について、指導・監督を強化していく。			
平成 28 年度の主な取り組み内容	・ 廃棄物減量および再利用に関する計画書を提出させ、新規事業所に現地調査を行い、適切に分別等がされていることを確認した。			
数値目標	平成 28 年度 目標数値	平成 28 年度 実績数値	平成 28 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

⑪店頭回収の拡大(店頭回収)

今後の施策展開	市民の多様な生活様式に対応するためにも、白色トレイ、ペットボトル、牛乳パックなど店頭回収されている品目のうち未実施品目の追加や新たな品目の追加を、スーパー等に働きかけていく。また、自動販売機脇の回収ボックス設置の拡大を働きかけていく。			
平成 28 年度の主な取り組み内容	・ 店頭回収実施店舗をホームページや各種イベントで紹介した。 ・ 未実施店舗への協力依頼を行ったが、特にチェーン店では本社の判断に従う必要があり、店舗独自の判断による取り組みを行うことは難しい状況であった。			
数値目標	平成 28 年度 目標数値	平成 28 年度 実績数値	平成 28 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
店頭回収 実施店舗数	32 店舗	30 店舗	93.8%	40 店舗

⑪店頭回収の拡大(自動販売機脇回収ボックス)

今後の施策展開	市民の多様な生活様式に対応するためにも、白色トレイ、ペットボトル、牛乳パックなど店頭回収されている品目のうち未実施品目の追加や新たな品目の追加を、スーパー等に働きかけていく。また、自動販売機脇の回収ボックス設置の拡大を働きかけていく。			
平成 28 年度の主な取り組み内容	・ 平成 27 年度に実施した回収ボックスの設置状況調査をもとに、未設置箇所へ設置依頼をし、設置数を拡大した。			
数値目標	平成 28 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 28 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
自動販売機脇回収 ボックス設置率	85.0%	84.5% ※1	—	87.0%

※1 実績値は、平成 27 年 6 月調査時点のもの。

(2)再使用に関する取り組み

①フリーマーケット、不用品交換の推進(フリーマーケット)

今後の施策展開	フリーマーケットは市民のリユースの場として定着しているが、その効果を十分に把握し、充実・発展を図っていく。			
平成 28 年度の主な取り組み内容	・フリーマーケットの出店者に対してアンケートを実施し、内容改善のための参考とした。			
数値目標	平成 28 年度 目標数値	平成 28 年度 実績数値	平成 28 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
市内全体のフリーマーケット開催回数	12 回	12 回	100.0%	12 回

①フリーマーケット、不用品交換の推進(不用品交換)

今後の施策展開	「とんぼ市」に関しては、事業を効果的に周知することにより市民認知の拡大を図るとともに、管理運用を徹底することで、市民にとって参加しやすく、また安心して活用できる場として提供していく。			
平成 28 年度の主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「とんぼ市」の利用申請をする際に、可能な限り写真を添付してもらうようにした。 ・リサイクルフェアなどの各種イベントで看板の掲示やチラシを配布し、情報提供を行った。 ・毎月 1 回、美住リサイクルショップの活動や不用品交換情報が掲載された「夢ハウス予定表」を発行し、市内公共施設で配布した。 			
数値目標	平成 28 年度 目標数値	平成 28 年度 実績数値	平成 28 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
とんぼ市不用品交換成立件数	190 件	105 件	55.3%	200 件

②家具等の再使用の促進

今後の施策展開	粗大ごみのうち再使用が可能な家具等については、引き抜きおよび修繕の実施により、美住リサイクルショップにおいて販売する家具類を十分に確保し、再使用の促進につなげていく。			
平成 28 年度の主な取り組み内容	・再生家具類の引き抜き強化を継続して実施し、美住リサイクルショップでの販売を行った。			
数値目標	平成 28 年度 目標数値	平成 28 年度 実績数値	平成 28 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

基本方針2 合理的な収集と資源化の推進

(1) 合理的な収集に関する取り組み

①円滑な収集・運搬の推進

今後の施策展開	引き続き円滑で効率的な収集・運搬を行っていくよう委託事業者に指導を行っていく。あわせて安全運転の励行、温室効果ガスの低減に配慮したアイドリングストップや車両の導入等の協力を求めていく。			
平成28年度の主な取り組み内容	・収集委託事業者との連絡会議等で、ごみ収集車の安全運転の徹底について周知をした。			
数値目標	平成28年度 目標数値	平成28年度 実績数値	平成28年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

②資源物の持ち去り防止対策の推進

今後の施策展開	近年発生している資源物の持ち去り行為に対しては、廃棄物減量等推進員や委託事業者と協力して行っているパトロールの実施に加え、GPSによる追跡調査等の持ち去り防止対策を実施することで、適正な資源回収を図っていく。			
平成28年度の主な取り組み内容	・廃棄物減量等推進員に早朝パトロールを依頼し、実施した。 ・取り組みの周知を行っているホームページの内容を見直し更新した。 ・委託事業者と協働でGPS追跡調査を実施した。			
数値目標	平成28年度 目標数値	平成28年度 実績数値	平成28年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

③高齢者等みまもり収集の継続実施

今後の施策展開	だれもが今後も住みなれた地域で安心して生活することができるよう、委託事業者の協力を得て、高齢者等みまもり収集を継続して実施する。			
平成28年度の主な取り組み内容	・関係所管と連携して、実施状況を把握した。収集委託事業者から通報のあった案件のうち、死亡等の重篤な状況はなかった。 ・収集委託事業者の協力を得ながら、高齢者等みまもり収集を継続して実施した。			
数値目標	平成28年度 目標数値	平成28年度 実績数値	平成28年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

(2) 資源化の推進に関する取り組み

①生ごみの資源化の推進

今後の施策展開	生ごみ集団回収事業を通じて生ごみの資源化を進めることとし、参加世帯数の伸び悩み等に対しては、事業を効果的に周知することにより、継続して取り組んでいく。			
平成 28 年度の主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民産業まつり等のイベント、店頭説明会、出前講座で情報提供や事業への参加呼びかけを行った。 ・ ホームページや「ごみ見聞録」で情報提供を行った。 ・ 自治会や集合住宅へチラシを配布し周知を図った。 			
数値目標	平成 28 年度 目標数値	平成 28 年度 実績数値	平成 28 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
生ごみ集団回収 参加世帯数	250 世帯	133 世帯	53.2%	500 世帯

(2) 資源化の推進に関する取り組み

②使用済小型家電の資源化の推進

今後の施策展開	貴金属やレアメタルなどの有用金属の資源化を図るため、拠点回収等による使用済小型家電の資源化の取り組みを推進していく。			
平成 28 年度の主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ、「ごみ見聞録」、「ごみ・資源収集カレンダー」で事業の周知を行った。 ・ 中央公民館、富士見公民館の 2 か所に新たに回収ボックスを設置した。 ・ イベントで事業の周知を図った。 ・ リサイクルフェアでイベント回収を実施した。 			
数値目標	平成 28 年度 目標数値	平成 28 年度 実績数値	平成 28 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

基本方針3 安全で確実な処理体制の構築

(1) 安全で確実な処理体制の構築に関する取り組み

①施設の維持・整備の推進

今後の施策展開	定期点検及び必要な維持補修、整備の実施により、引き続き安全で確実な処理を行っていく。			
平成28年度の主な取り組み内容	・定期点検補修工事、クレーン年次点検補修工事を実施した。			
数値目標	平成28年度 目標数値	平成28年度 実績数値	平成28年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				





②焼却灰のエコセメント化の継続

今後の施策展開	焼却灰については引き続きエコセメント化事業により、資源化を推進していく。			
平成28年度の主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・東京たま広域資源循環組合の焼却残渣受入基準を遵守し、エコセメント工場へ搬入した。 ・焼却残さの放射性物質濃度の測定を実施し、基準内であることを確認した。測定結果は市のホームページに掲載するとともに、東京たま広域資源循環組合へ報告した。 			
数値目標	平成28年度 目標数値	平成28年度 実績数値	平成28年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

③ごみ処理施設更新の検討

今後の施策展開	周辺環境などに配慮し、既存施設の現状を把握しながら、区内での処理あるいは広域化も含め、市民とともに検討を行い、将来にわたって安定したごみ処理を行うための取り組みを進めていく。			
平成28年度の主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・既存ごみ焼却施設機能診断を実施し運転状況や設備・建物の状況を確認した。 ・ごみ処理施設のあり方検討会を開催し、将来にわたって安定したごみ処理を行っていくための検討を行った。 ・ホームページや「ごみ見聞録」で、ごみ処理施設のあり方検討会の実施状況を周知した。 			
数値目標	平成28年度 目標数値	平成28年度 実績数値	平成28年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

④災害発生時の対応に向けた取り組みの推進

<p>今後の施策展開</p>	<p>災害発生時に大量に発生する廃棄物を適正に処理し、衛生環境の確保を迅速に図るため、あらかじめ災害発生時の廃棄物処理マニュアルを作成するなど、災害発生時に向けた取り組みを推進していく。</p>			
<p>平成 28 年度の 主な取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国や東京都の動向、他自治体の災害時の対応について情報収集を行った。 ・ 収集した情報をもとに、災害廃棄物等の処理に関する事項の整理を行った。 			
<p>数値目標</p>	<p>平成 28 年度 目標数値</p>	<p>平成 28 年度 実績数値</p>	<p>平成 28 年度 目標達成率</p>	<p>平成 32 年度 最終目標数値</p>
<p>数値目標設定なし</p>				

基本方針4 情報提供や環境学習の充実

(1) 情報提供や環境学習の充実に関する取り組み

①啓発活動の推進

今後の施策展開	あらゆる機会を通じて市民や事業者の理解と協力を得るための啓発の促進を図るとともに、必要な情報の提供を行っていく。「ごみ見聞録」や「夢ハウスだより」等の啓発紙についてはそれぞれの役割を見定めながら、さらに充実を図るよう努めていく。あわせて新たな情報の更新が容易なホームページの活用、充実を更に図っていく。			
平成28年度の主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを積極的に活用し、最新情報を随時更新した。 ・廃棄物減量等推進員の協力を得ながら、啓発の取り組みを進めた。 ・「ごみ・資源収集カレンダー」の掲載内容を見直し、更なる内容の充実を図った。また、今後の「ごみ・資源収集カレンダー」内容充実のため、出前講座や出張相談会で簡易アンケートを実施した。 ・収集カレンダーやごみ分別辞典等を搭載した「ごみ分別アプリ」をリリースした。 			
数値目標	平成28年度 目標数値	平成28年度 実績数値	平成28年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

②講座・学習・イベントの推進

今後の施策展開	店頭や自治会等への出前講座を市民と直接的な対話の場として、積極的に実施していく。また、家庭での分別の重要性や処理の流れなどの市民理解を深める場として施設見学会を継続して実施していく。さらに、各種イベント等の機会をみつけて、これらに積極的に参加し、啓発活動に努めていく。			
平成28年度の主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・夢ハウスまつりやリサイクルフェア等の各種イベントに参加し、情報提供や啓発活動を行った。 ・スーパーや公共施設等で出前講座を実施した。 ・市民ごみ講座「ごみとくらしの未来をえがく～みんなで作るソーシャルデザインの紹介～」を実施した。 			
数値目標	平成28年度 目標数値	平成28年度 実績数値	平成28年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
出前講座開催回数	46回	46回	100.0%	50回

③集合住宅の排出指導強化

今後の施策展開	一部の集合住宅の集積所の中には、分別ルールや収集日を守らないごみが出されるケースが目立つことから、これらの集合住宅の管理人、オーナー、入居者に対して、ルール徹底の指導を強化していく。			
平成28年度の主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・収集委託事業者等と連携し、分別が適切でない集合住宅の情報収集を行った。 ・分別が適切でない集合住宅につき、管理会社等に対して排出指導を行った。 			
数値目標	平成28年度 目標数値	平成28年度 実績数値	平成28年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
排出指導実施回数	15回	15回	100.0%	15回

④学校への出前授業等の実施

今後の施策展開	<p>学校での出前授業等を実施することで、次世代を担う児童・生徒が資源化やルールに関する意識や理解を高めていけるように、教育委員会・学校との連携を図っていく。ひいては、児童、生徒の意識の高まりを通じて、家庭での意識改革に繋げられるよう努めていく。</p>			
平成 28 年度の 主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前授業実施に向けて、各学校等に対して働きかけを行った。 ・ 教材としてパワーポイントを新たに取り入れ、内容の充実を図った。 ・ 施設見学が実施できない小学校については、「秋水園のしおり」を利用し、出前授業で説明を行った。 ・ まとまった時間が確保できない小学校に対しては、短時間のミニ出前授業を実施した。 ・ 出前授業実施が困難な中学校については、先生に出前授業内容を記載した資料の配布、及び内容の説明を行い、授業の中で説明していただくよう依頼した。 ・ ホームページで、出前授業の内容について情報提供を行った。 			
数値目標	平成 28 年度 目標数値	平成 28 年度 実績数値	平成 28 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
出前授業実施校数	16 校	17 校	106.3%	22 校

基本方針5 市民・事業者との協働

(1) 市民・事業者との協働に関する取り組み

① 廃棄物減量等推進員の活動推進

今後の施策展開	53丁に配置されている廃棄物減量等推進員と市との意思疎通や連携を強化するとともに、研修会などを通じ、推進員相互の協働を促していく。			
平成28年度の主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 江東区にある中央防波堤埋立処分場の視察研修を実施した。 夢ハウスまつりや市民産業まつり等のイベントへの参加を呼びかけ推進員と協働で啓発を行った。 			
数値目標	平成28年度 目標数値	平成28年度 実績数値	平成28年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

② 市民組織への支援と協働及び連携の推進

今後の施策展開	既存の市民組織への情報提供や技術支援等をさらに進めるとともに、市民組織と行政が企画立案の段階から協議を行い、活発な事業展開を推進していく。さらに活動団体どうしの連携を促進していく。			
平成28年度の主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 各団体の運営委員会や会議に参加し、情報の共有化をはかるとともに、イベントを協働で行った。 各団体が主体となってリサイクルフェアが開催できるよう、参加団体からリサイクルフェア実行委員長を選出し準備を進めた。 夢ハウスまつりや市民産業まつり等の各種イベントに、各団体と連携して参加し、啓発を行った。 			
数値目標	平成28年度 目標数値	平成28年度 実績数値	平成28年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

③ 市民・事業者との協働の推進

今後の施策展開	市民・事業者との協働に心がけながら、各分野における施策の推進を図っていく。			
平成28年度の主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 市報、啓発紙、ホームページを通じて、秋水園の事業計画や施策などについて情報提供を行った。 施策を実施するにあたり担当者が丁寧な説明を心がけ、市民・事業者の理解と協力を求めた。 円滑な収集がされるよう、収集業者と連携し各施策を進めた。 			
数値目標	平成28年度 目標数値	平成28年度 実績数値	平成28年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

東村山市一般廃棄物処理基本計画 実行計画
平成 28 年度実績報告書

平成 29 年 8 月発行

発行：東村山市資源循環部
〒189-8501 東京都東村山市本町 1 丁目 2 番地 3
TEL : 042-393-5111(代) FAX : 042-391-5847
(事務所：東村山市秋津町 4 丁目 17 番地 1)